

2018 年 2 月 24 日（土）

## 北横岳（2480 m）

～Report by 吉松～

安全に雪山が楽しめる北横岳に久しぶりに登ってきました。朝から比較的穏やかな天気でしたが、吹き飛ばされそうな山頂の風にはビックリしました。

参加者は安部さん、池戸さん、根岸さん、中島さんと吉松の 5 人。計画では熊本さんがリーダーの予定でしたが、ご家庭の都合で急遽不参加となり、私が俄リーダーとなって行ってきました。



（八王子駅に入線する「あずさ 3 号」）

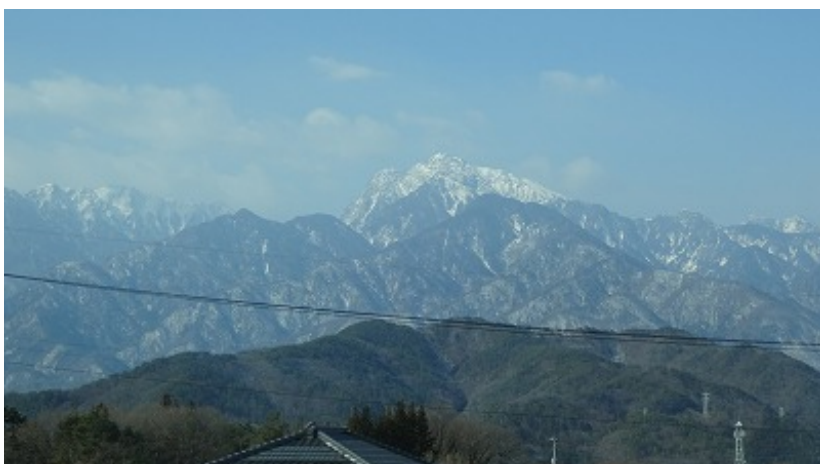
予定では、千葉駅始発の特急「あずさ 3 号」で茅野駅に向かうことになっていた。列車のつながりの便によって、何人かは八王子駅からの乗車であった。



「あずさ 3 号」の指定をとれなかった安部さんは、一つ前の特急「あずさ 1 号」の自由席を利用したにもかかわらず、一杯で座れなかったとか。

同じく吉松も指定がとれず、「あずさ 3 号」の自由席に八王子駅から乗り込んだが、大月駅では座ることが出来た。ラッキーであった。

（写真は指定席車両、満席状態であった。）



韭崎辺りからは南アルプスの勇姿が良く望めた。

左奥に雪をかぶっているのは北岳・間ノ岳、中央に一際大きくそびえるのは甲斐駒ヶ岳。



9時51分に茅野駅に着いて、早速バス乗り場に。「あずさ1号」で先に着いていた安部さんは既に並んでいた。

北八ヶ岳ロープウェイ行のバス停は2番乗り場。熊本さんのプランでは1番乗り場になっていたのですが、一瞬たじろいだが2番乗り場で間違いは無さそう。



(乗り場は2番バス停)



ロープウェイに向かうバスは超満員。

満員のまま一台で出発したが、茅野のバス停で更に追加の客もいたらしく、もう一台臨時バスが後から追いかけてきた。途中で2台のバスの乗客人数の調整をしてやや混み具合が緩和した。

曲がりくねった道での1時間立ちっぱなしは、ちょっとつらい。



11時24分、ほぼ予定通りに北八ヶ岳ロープウェイに到着した。

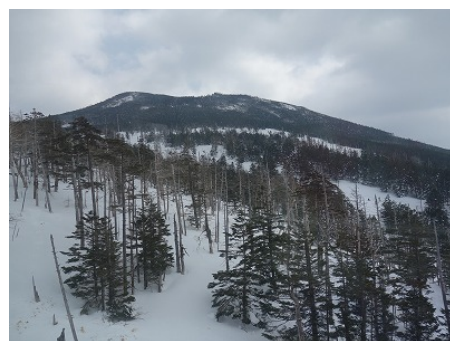
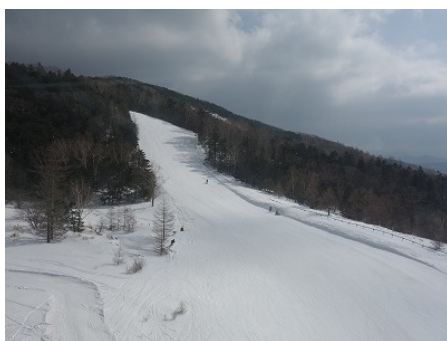
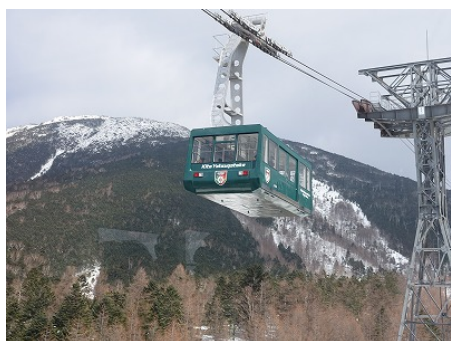


ゴンドラ待合場所にはスキー客が予想以上に沢山並んでいて、予定時刻の10分遅れ(11時50分発)のゴンドラに、何とか乗り込むことが出来た。



ロープウェイの標高差は 500 メートル、約 7 分で登り切る。

山麓駅辺りではあまり風を感じなかったが、ゴンドラから見た眼下の樹林の揺れ具合で、山の上ではかなり強いことが分かった。山頂駅ではゴンドラが左右前後に随分揺れながら停車場に入っていた。



山頂駅休憩所で、まずは腹ごしらえ！



(中島さんの温かい昼食)



(安部、根岸さんの差入)

外気は零下 10 度を下回っている。

窓に張り付いた水滴が美しい文様になって凍り付いている。







外気温が低い上に、山頂での強い風が予想されたので寒さ対策は入念に行った。  
アイゼンを装着して、坪庭の看板の前で記念撮影を行った。







北横岳に向かっていざ出発！！

ゴンドラ乗込みが混雑で 10 分遅れ、入念な寒さ対策のために更に 10 分ほど余分に時間を喰ってしまい、山頂駅からの出発が予定時刻より 20 分ほど遅れてしまった。



坪庭では風を遮るものが無いため、坪庭横断の間は強風をもろに受けながら歩くことになった。

風に乗って飛ばされてくる雪片が顔にぶつかってきて、相当痛い。寒さで身体も中々温まってこない。



坪庭を過ぎて小休止。

安部さんのアイゼンの調子が悪いようだ。この後も何回か締め具合の調整をすることになった。





坪庭を抜けると山頂までは登りになる。

ここからは樹林帯に入るので、強かった風が嘘のように静かになって、身体も徐々に温まってきた。



登山道から振り返ると、ゴンドラの山頂駅（写真右上）は遙か遠くに見えて、横切った坪庭が眼下に広がっていた。







北横岳と三ツ岳分岐に来た。  
あと 5 分ほどで北横岳ヒュッテだ。

13 時 35 分、北横岳ヒュッテに到着。安部さんは、ベンチでアイゼンを本格的に調整して、やっとおさまりが良くなった。ザックはヒュッテ脇に置いて山頂を目指すことにした。

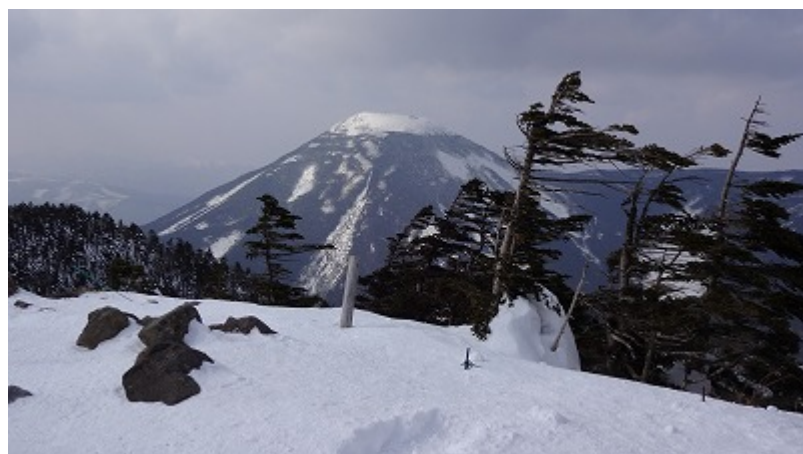


10 分も登ると南峰山頂。山頂では再び強風に晒され始めた。風速 20 m くらいはあるのではないだろうか？  
温度計は零下 10 度を指し示しているが、体感温度は更に更に低い。横殴りの雪片が顔をたたきつけてくる。





強風にあおられつつ、北峰に向かった。「クマさん旗」を飛ばされないようしっかり持って、写真に収まった。



北西の方向には、蓼科山の勇姿がくっきりと見えていた。

枝に着いた氷や雪は強風ですっかり吹き飛ばされてしまっていた。

期待していた「えび樹氷」を楽しむことは出来なかった。

強風の中を、南峰に急いだ。尾根の樹々には、吹き飛ばされてしまって樹氷が全く着いていない。





北横岳南峰（2480m）での記念写真。

強風の中での撮影のため、ここでは「クマさん旗」を出すのは断念。



強風と寒さで、山頂にいつまでものんびりしている訳にもいかず、下山開始。



14時20分、北横岳ヒュッテ到着。

予定時間より大分遅れていることが分かり、ここからは若い中島さんが先頭になって、皆を引っ張ってもらった。





中島さんのリードで、下りは早いものの、10数分で坪庭入り口まで下りてしまった。



14時50分、ロープウェイ山頂駅に到着。

しかし予定していた14時40分発には間に合わず、結局15時発のゴンドラに乗ることにした。



山麓駅から茅野駅行のバスは15時5分発だ。我々もそれに乗る予定であった。

“万事休す”とは思いながらも、2台連ねてやってきた乗客がいるはずだから、バスの出発が数分は遅れるかもしれないとの淡い期待を持って、ゴンドラの山麓駅辺りにジッと目を凝らしていた。

しかしバス停にはバスもいなければ、出て行った気配も無かった。・・・なんだ??



要するに・・・、早い話が・・・、15時5分発の茅野駅行バスは最初から無かったのだ!!!

茅野駅行バスは、14時45分発と16時45分発に変わっていたのだ。頑張っても間に合うわけが無い

タクシーを呼ぶにも待ち時間がかかりすぎる。と言って、近くに日帰り温泉も無い。こうなったら切り替えは早いほうが良い。温泉入浴は諦めることにして、飲むことを優先することにした。

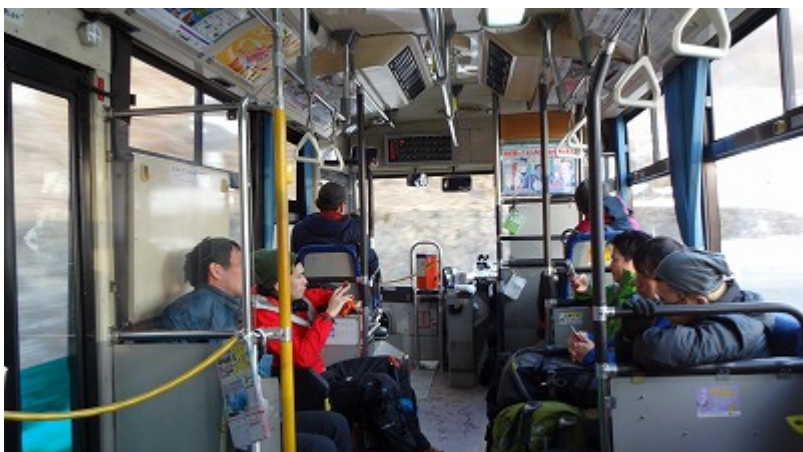


いい塩梅に、ゴンドラ駅に温かくて広い休憩所がある。ビールと手持ちのアルコール、そして持参のつまみを持ち寄って、ここに腰を据えて一献やることに一決した。



ほろ酔い加減になったところで、バス停に。

これに乗り遅れたらさすがに目も当てられない。



乗客は少なかった。

来たときのバス 2 台の客はどこに行ったのか、不思議であった。

16 時 45 分発のバスは列車との連絡が良く、当初予定の帰りの列車である、茅野駅発 17 時 50 分「あずさ 30 号」にうまくことつながっていた。

渋滞のため、ギリギリの発車時刻数分前にホームに着いてやっと一安心！







期待通り、自由席はガラガラ。ゆったりと席を占めることが出来た。

車内販売の清酒 5 本を買いしめて、又々腰を据えて、ゆっくり一献愉しむことにした。

車掌が随分優しい人で、我々の集合写真を撮ってくれた。

バスの発車時刻の変更があったのを知らず、下山時はいささか慌ててしまった。  
そのために、「望岳の湯」で一汗流すことが出来なかったのが残念ではあったが、一献傾ける時間だけは充分にあって、楽しい雪山登山となりました。